

# 石狩湾新港 西地区 国際物流ターミナル整備事業 整備効果

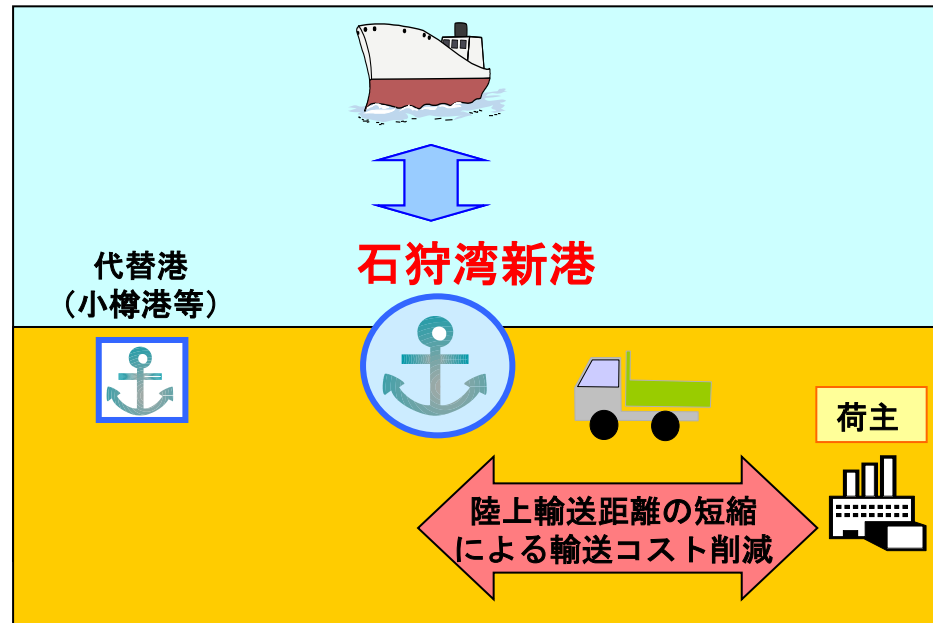
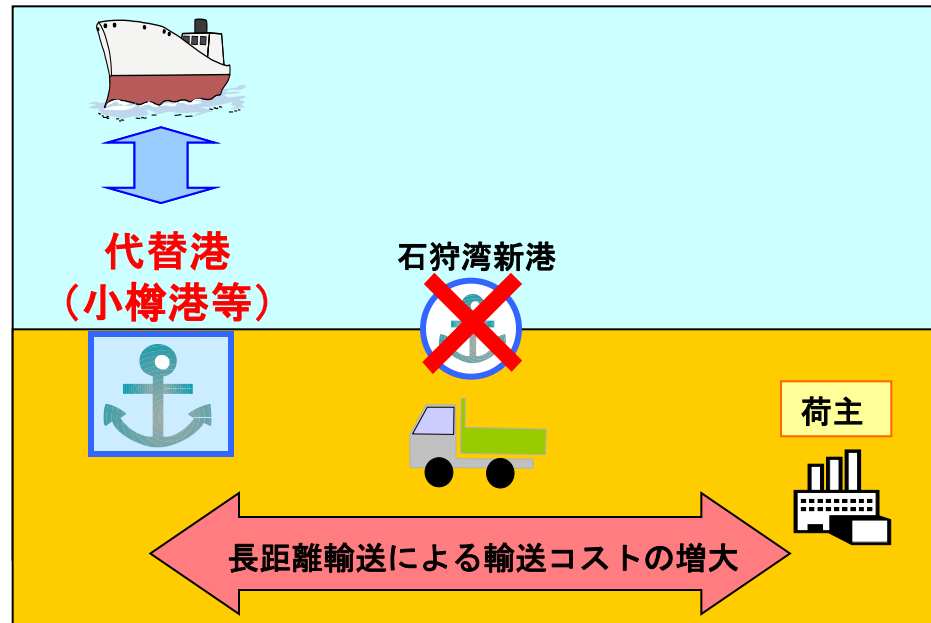
## 輸送コストの削減(陸上)

without時

石狩湾新港では、バルク貨物に対応した大水深岸壁が未整備であり、背後圏の物流需要に対応できていないため、背後企業は代替港を利用した非効率な輸送形態に依存せざるを得ず、陸上輸送コストがかかる。

with時

本整備事業の実施により、石狩湾新港に大型貨物船の入港が可能となり、代替港利用に伴う陸上輸送コストを削減することができる。



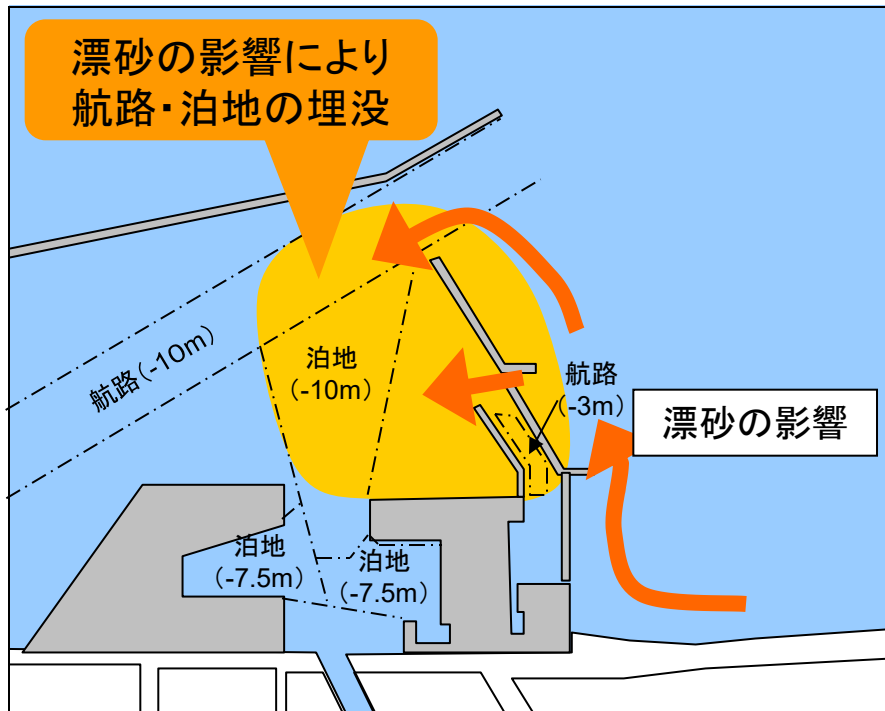
輸送コストの削減 (陸上) 年間591百万円

# 石狩湾新港 西地区 国際物流ターミナル整備事業 整備効果

## 維持浚渫費用の削減

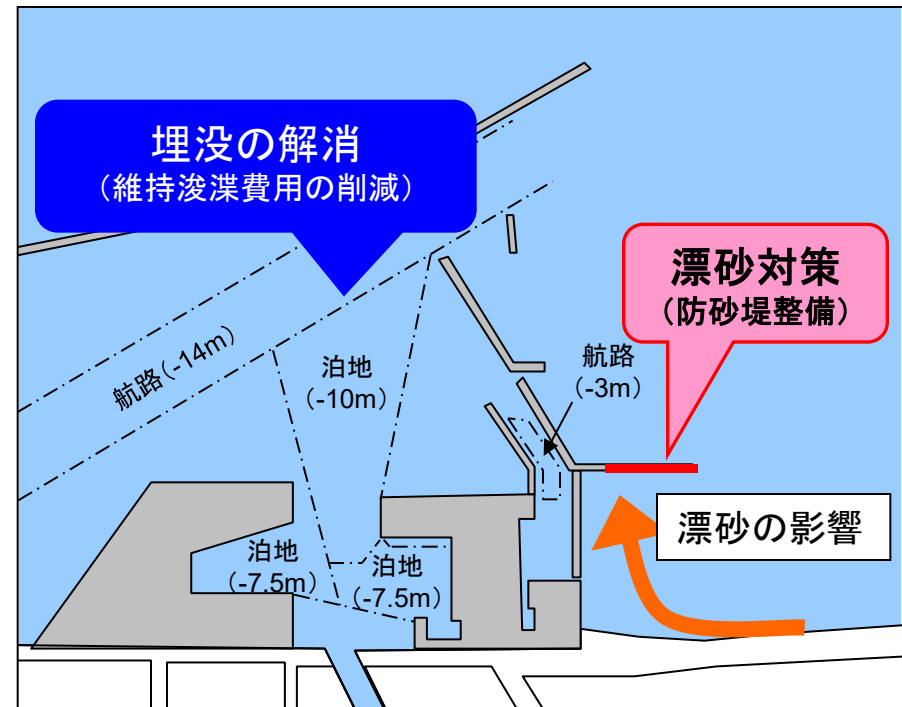
without時

石狩湾新港の東側海域では、漂砂の影響により航路・泊地の埋没が進んでいることから、船舶の安全な航行を確保するためには、定期的な維持浚渫を行う必要がある。



with時

本整備事業の実施により、漂砂による港内埋没が解消され、定期的な維持浚渫に要するコストを削減することができる。



維持浚渫費の削減

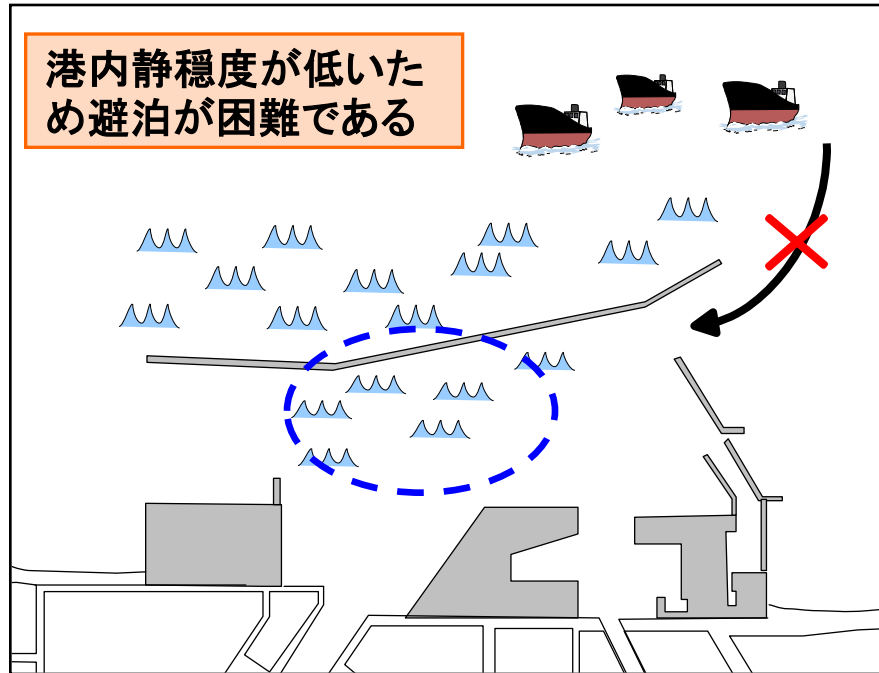
年間327百万円

# 石狩湾新港 西地区 国際物流ターミナル整備事業 整備効果

## 海難の減少

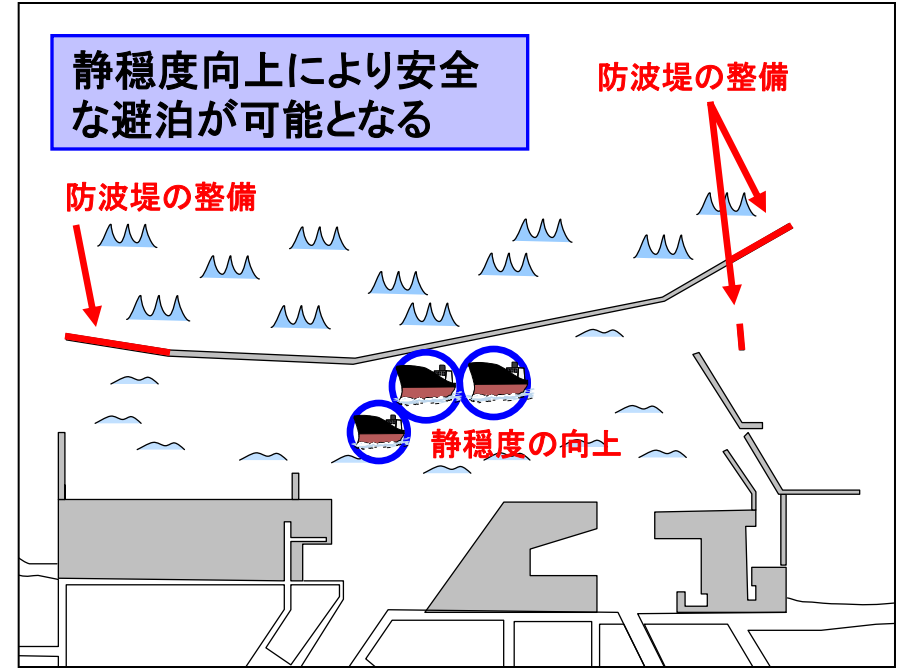
without時

石狩湾新港では、港内静穏度が低いため、荒天時における港内への避難船の受け入れが困難な状況にある。



with時

本整備事業の実施により、港内の静穏度が向上して避泊水域の稼働率が上がるため、荒天時においても港内の貨物船の避泊が可能となり、海難事故を未然に防止することができる。



海難の減少 年間3,078百万円